

[主催] 壺井栄顕彰会 [共催] 一般財団法人岬の分教場保存会(二十四の醴映画村・壺井栄文学館)

[後援] 香川県・香川県教員委員会・小豆島町・小豆島町教育委員会・土庄町・土庄町教育委員会・

一般社団法人小豆島観光協会・KSB瀬戸内海放送・NHK高松放送局・OHK岡山放送・RNC西日本放送・RSK山陽放送・TSCテレビせとうち・FM香川

電井栄生誕120年記念 ・ 明読と 音楽の調べ

 $_{2020}.2.2$ (日)

開演 13:30~15:30 (受付 12:30 / 開場 12:45)

入場整理券については、表面をご覧ください

道の駅 小豆島オリーブ公園 オリーブホール

Program

開演/主催者挨拶

松本 篤 (壺井栄顕彰会会長・小豆島町長)

Prologue

藤本 真己 (ヴァイオリン) 加島 華奈子 (ピアノ)

第Ⅰ部

二十四の瞳岬文壇エッセー募集最優秀作品 第14回最優秀賞「暖かい手」西岡 奈緒子 作 第10回最優秀賞「お裁縫箱」小野 歩 作 第3回最優秀賞「母のお詫び」小林 孝俊 作 第11回最優秀賞「こたつのなか」朝倉 由宇 作 [朗読]

佐藤 B作(俳優) あめく みちこ(女優)

休憩

第Ⅱ部

壺井栄小説「二十四の瞳」より 「朗読]

佐藤 B作(俳優) あめく みちこ(女優)

閉会挨拶

大石 雅章(壺井栄文学館 館長)





©1954松竹株式会社

出演者プロフィール

佐藤 B作(俳優)

早稲田大学在学中に演劇活動を始める。1973年、劇団東京ヴォードヴィルショーを結成。現在も主宰として、テレビドラマ、映画、舞台など幅広く活躍。主な出演作はテレビ「八重の桜」「渡る世間は鬼ばかり」、映画「男はつらいよ」、舞台「ヘンリー四世」「三婆」「父と暮らせば」「ふるあめりかに袖はぬらさじ」など。1986年「吉ちゃんの黄色いカバン」で第21回紀伊國屋演劇賞・個人賞、1999年「戸惑いの日曜日」で名古屋演劇ペンクラブ賞個人賞、2004年に第1回喜劇人大賞特別賞、2013年には「パパのデモクラシー」「その場しのぎの男たち」で第48回紀伊國屋演劇賞・団体賞を受賞。



あめく みちこ(女優)

1983年に「劇団東京ヴォードヴィルショー」に入団。以降劇団を中心に外部の舞台作品、テレビドラマや映画など幅広く活躍している。2010年には同世代の女優とともに、作・演出に赤堀雅秋を迎えた「劇団姦し」を結成し、以降「タ立」「歓喜の歌」を上演。主な出演作はテレビ「再捜査刑事・片岡悠介シリーズ」「カーネーション」、舞台「その場しのぎの男たち」「終われない男たち」「三文オペラ」「春のめざめ」など。2013年には新国立劇場「負傷者16人-SIXTEEN WOUNDED」(宮田慶子 演出)と劇団公演「竜馬の妻とその夫と愛人」(三谷幸喜作・山田和也演出)で第20回読売演劇大賞女優賞を受賞。



藤本 真己(ヴァイオリン)

香川県小豆島出身。中学1年生。幼い頃よりロシアやイギリスなど、海外でも経験を積み、数々のコンクールで入賞を果たす。明るく伸びやかな音色と人柄は、人を惹き付ける魅力があり、多方面の分野で活躍中。第32・35回香川ジュニア音楽コンクール金賞。第17回大阪国際音楽コンクール第3位。第36回全日本ジュニアクラッシック音楽コンクール第2位。第13回セシリア国際音楽コンクール第2位。第9回コンコルソMusic Arte優秀大賞(グランプレミオ)など。





壺井栄について

Sakae Tsuboi

1899年8月5日-1967年6月23日。香川県小豆郡小豆島町坂手生まれの小説家、児童文学作家。反戦(反核)平和を訴えた「石臼の歌」と「二十四の瞳」は21世紀の現代まで国語の教科書に載り、映画化も繰り返されている。プロレタリア文学運動のかかわりの中から出発した作家だが、イデオロギー的ではなく、現実の庶民生活の中にある互いの助け合い、たくましくおおらかな人間愛を自己の体験をとおして描く。貧困、病気や障害、封建的家制度や社会の変化にもてあそばれる弱者の立場に立ち、その問題解決を女性の自立や子供たちの革新性などに托している。特に栄の児童文学は、誰もが幸福である社会の実現に向けての夢を、おばあさんが昔語りをするように子供に語り継いでいる。人間生活と自然との共生の大切さについても訴えている。「大根の葉」「暦」「柚原小はな」など名作の多くが、ふるさとの坂手村を舞台に方言を駆使して描かれ、文学のテーマを効果的に押し出している。